

訪日外国人の消費額 年間3兆円規模

訪日客の消費額、どのくらい？

「最近のニュースから」 訪日外国人消費動向調査によると、2015年4～6月期に日本に来た外国人の消費額は、8887億円だった。前年の同じ時期の1・8倍に増え、四半期として過去最高額となった。

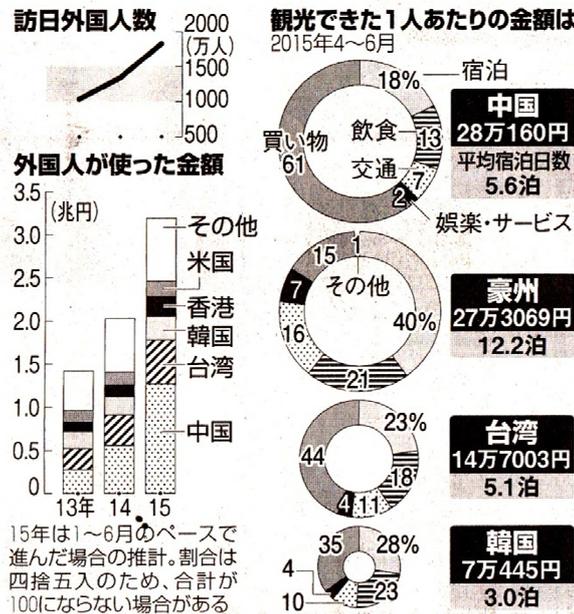
年間3兆円規模の見込み

「爆買い」という言葉をニュースでよく聞くようになった。中国などから日本に来た客が、炊飯器や化粧品を大量に買って行く。日本の個人消費がふるわないなか、外国人観光客は宿泊

や買い物、食事などについて使っているのだろうか。観光庁の「訪日外国人消費動向調査」は、全国の空港や港から出国する約1万人の外国人に、3カ月ごとに聞き取りをしている。4

6月は、客1人が使った金額は平均で約18万円だった。ただ、国や地域により使い道は大きく異なる。観光目的で来た人だけを見ると、中国人は支出額が約28万円と最も多い。そのうち、約17万円を買い物に使う。豪州人は、中国人に迫る約27万円を使うが、滞在期間が長いだけに宿泊費が多く、買い物は約4万円だけだった。台湾や韓国も客数は多いが、中国ほどの買い物志向はみられない。

この金額は、国内総生産（GDP）の総額約500兆円の0・6%を占める。東レ経営研究所の永井知美氏は「外国人の消費は、日本経済を下支えするぐらいの効果は出てきている」と話す。販売額で見ると、全国の百貨店（約6兆8千億円）や、ドラッグストア（約4兆8千億円）に迫る規模だ。



「爆買い」は、中国人ならではの行動と言えそう。各国からの旅行者がおみやげに買ったものも、調べられている。炊飯器などの電気製品は、全体の2割の人が買い求めていた。1人あた

りの平均の購入金額は、約4万8千円。4割の人が買う化粧品・香水は約3万円だった。旅行者が使ったお金の合計は、1人あたりの平均支出額に人数をかけて出す。14年に日本に来た外国人は日本政府観光局の調べで1341万人。免税で買える商品の種類が増え、外国人からみれば円安で割安に旅行できることもあり、前年より3割増えた。消費額の合計は、前年の1・4倍の約2兆円と過去最高だ。

15年は、入国ビザの条件が緩くなった中国人が前年の2倍以上のペースで訪れており、外国人全体の数も1・5倍に増えている。このままいけば、年間の消費額は3兆円規模になる計算だ。

この金額は、国内総生産（GDP）の総額約500兆円の0・6%を占める。東レ経営研究所の永井知美氏は「外国人の消費は、日本経済を下支えするぐらいの効果は出てきている」と話す。販売額で見ると、全国の百貨店（約6兆8千億円）や、ドラッグストア（約4兆8千億円）に迫る規模だ。

(生田大介)